



問合先: 岩手大学教育学部 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 TEL.019-621-6504 FAX.019-621-6600  
E-mail edu jim@iwate-u.ac.jp URL http://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/

この冊子はグリーン購入法に基づき基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。



今後の予定

8~9月

- 現職院生【1年次】  
学校マネジメント力開発実習  
(@岩手県教育委員会、岩手県立総合教育センター)
- 学卒院生【1年次】  
総合実習 (@附属幼稚園、附属特別支援学校)
- 現職院生【2年次】  
学校マネジメント力開発実習  
(@盛岡教育事務所、盛岡市教育委員会、  
宮古教育事務所、沿岸南部教育事務所)
- 平成30年度教育学研究科入試 (9月30日)

10~11月

- 学卒院生【1年次】  
総合実習 (@附属中学校、附属小学校)
- 学卒院生【2年次】  
授業力・子ども支援力開発実習 (@連携協力校)
- 学卒院生【1年次、特別支援教育開発プログラム】  
特別支援教育力開発実習I (@附属特別支援学校)
- 現職院生【1・2年次、特別支援教育開発プログラム】  
特別支援教育力開発実習II (@附属特別支援学校)

平成29年度 第1回  
授業公開・授業研究会 開催 7月7日

心地よい晴天のこの日、授業公開の会場には、教職大学院生35名が勢ぞろいしました。そこには、多種多様な立場の院生がいます。多種多様な立場とは、2年次・1年次、現職院生・学卒院生、学校マネジメント力開発プログラム・授業力開発プログラム・子ども支援力開発プログラム・特別支援教育プログラム、そして、小学校配属・中学校配属・高等学校配属・特別支援学校配属などの組合せによって生まれたものです。

所狭しと机間を歩いて授業参観するのは、岩手県教育委員会や、連携協力校の先生方、本学教員、そして、教職大学院への進学を志す学部生。約40名にご参会いただきました。

教育実践リフレクションの授業が公開されました。これは、理論と実践の往還、融合をめざす授業です。この日は、小グループで授業力開発をめざした専門実習の成果を振り返り、その成果と課題を明らかにすることが目指されました。教職大学院においても近年の授業における命題「主体的・対話的で深い学び」に挑戦します。

授業研究会では、ご参会の皆様からの活発で率直なご発言をもとに協議が進められ、岩手県立総合教育センターの藤岡宏章先生によるご助言をもって盛会裏に終えました。



理論と実践の融合。

教職大学院での3ヶ月

【現職院生(M1)】 鈴木 義幸

第2期生として、現職8名、学卒10名での2年間の研修がスタートして3ヶ月。これまでの教員生活が一変しました。月~水曜日は、大学での講義を通した理論研究。木曜日は、連携協力校での実践研究。金曜日に、1週間を振り返るリフレクション。現職と学卒が共に刺激しながら学び合うことで、学修を深めています。今回、このような研修の機会をいただいたことに感謝し、理論と実践の往還を目指して自己研鑽に日夜努めています。

交流ラウンジ  
院生の近況



秋田県の  
学校公開が刺激に

【学卒院生(M1)】 石川 高揮

大学院に入学してからの3ヶ月があっという間に過ぎ去りました。講義に加えて毎週の実習、学校公開への参加と学部時代より密な時間を過ごすことができている。特に秋田大学附属中の学校公開で、初めて岩手県以外の教育現場を見ることができ、視野を広げることができました。岩手の学力の向上のため、授業力向上を中心に今後も頑張ります。

学卒院生と共に

【現職院生(M2)】 砂沢 剛

10日間の授業力開発実習が終わりました。実習校である盛岡市立高校では、私の他に3名の学卒院生がお世話になりました。今回私は主に学卒院生を支援する立場で実習に臨みました。実践経験の少ない学卒院生は、授業の構成方法や細かい授業スキルの習得など苦勞の連続でしたが、最終日には確かな手応えと満足感を得ていたようでした。

授業力開発実習から

【学卒院生(M2)】 黒坂 優

今回の実習では、学部の教育実習とはまた違う雰囲気や緊張感を感じながら取り組むことができました。配属校では、同じ職員という立場で接してもらえたと感じており、良い意味で特別感のない環境で実習できたことに深く感謝します。今後現場に出たとき、自分にどんな課題があるか把握する貴重な機会になったと思います。

教員メッセージ

実務家教員 紀 修



4月に2期生18名が入学し、総勢35名の院生(学卒19名・現職16名)による学修がスタートしました。高度専門職業人としての教員の養成を目指し、異年齢、異経験という院生集団の特質、研究者教員と実務家教員の個々の専門性を活かした授業を進めています。特に本大学院の特色である「リフレクション科目(必修)」においては、学修集団、指導体制を工夫し、教育理論知と学校実践知との融合を図りながら、実践的力量的の育成を行っています。来年1月末には、教育実践研究発表会を予定していますので、是非ご参加ください。